



“たいせつ”がギョツと。

阪神電車
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

阪神電気鉄道株式会社
HANSHIN ELECTRIC RAILWAY CO., LTD.

〒553-8553

大阪市福島区海老江1丁目1番24号
http://www.hanshin.co.jp/

NEWS RELEASE

経営企画室(広報担当)

2017年3月28日



長岡京市との協業「まちなかミマモルメ(セキュリティBLE対応)」 運用開始後1年間の効果検証結果で、有効性が立証！

～全国初、Wi-Fi スポット活用型BLE 受信器の効果検証も実施～

京都府長岡京市(市長: 中小路 健吾)と阪神電気鉄道株式会社(本社: 大阪市福島区、社長: 藤原 崇起)では、長岡京市の「おでかけあんしん見守り事業」の一環として、2016年4月に、セキュリティBLE (Bluetooth Low Energy) システム(※1)を用いた「まちなかミマモルメ(詳細は別紙参照)」を導入し、同年6月からは、Wi-Fi スポットを活用したBLE受信器(※2)も用いて、認知症高齢者の見守り事業を実施してきました。長岡京市では、これまで本事業の有効性の検証を行ってきましたが、運用開始後1年間経過したことを受け、これまでの実施経過の検証結果を、レポートにまとめたうえで公表しましたので、お知らせします。

※1 BLE技術の特徴である「簡便性が高い故のセキュリティの脆弱性」を補うために、独自セキュリティを施しているものです。

※2 受信器からサーバまでの通信に、Wi-Fi スポットを活用したもので、通信コストが大幅に削減されることが特長です。今後、当社では、他の自治体に対し、今回の実験に参画したリアライズ・モバイル・コミュニケーションズ(株)(本社: 東京都港区、社長: 酒谷 正人)の、行政活動・観光等にも活用できる「マルチアプリ対応型受信器(Wi-Fi スポット活用型)」を、従来のミマモルメ対応受信器とともにPRし、「まちなかミマモルメ」の普及に努めていく予定です。なお、長岡京市では、今回の検証結果を受けて、2017年12月末まで、Wi-Fi スポット活用型のマルチアプリ対応型受信器の設置を延長することが既に決定しています。

今回の長岡京市の検証レポートによると、発信器を持つ行方不明者の受信機周辺における通過履歴が、早期発見に役立ったという例を紹介するなど、その立証結果が示されており、本サービスの仕組みが有効であったことが結論付けられています(<http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000004743.html>)。更に、同市では、このIoT技術である「まちなかミマモルメ」のほか、独自に「みまもりネットワーク」という人的仕組みも構築しており、これらを組み合わせることで、「見守り」の質が大幅に向上する結果となりました。

今回の検証レポートは、同市で導入された本システムを初めとした「見守り」の仕組みが、自治体単位の取組みにとどまることなく、広域的な取組みとして、他の自治体にも広がり、より安心できる社会となるとともに、各自自治体が個別に実施している「見守り」事業に関する実証実験コストを、社会全体として低減させることを目的として、公表されたものです。

当社といたしましても、同市の趣旨・目的に賛同し、今後、同様の仕組みの導入を検討している自治体に対し、「セキュリティの重要性」及びこれまで培った「みまもり事業のノウハウ」を訴求し、「真に安心できる街づくり」に、引き続き貢献していきたいと考えております。

(参考) 「まちなかミマモルメ」の実運用実績

- ・2016年3月 伊丹市で市中1,000か所に「安全・安心見守りカメラ」とともに設置
- ・2016年4月 長岡京市で西山入山口の18か所、6月からは市中20か所のWi-Fi スポットに設置

以上

(参考) 「まちなかミマモルメ」の概要

登下校メール（導入校：約 900 校、約 18 万人が利用）のノウハウを活かし、これまでの校門・塾・高齢者施設・マンションだけでなく、「まちなか」に利用シーンを展開させたものが「まちなかミマモルメ」です。これまでのメールのみのお知らせから、新たに、アプリによる検知箇所の通過履歴の閲覧やプッシュ通知が加わり、お子さまや高齢者の居場所を把握することができます。

BLE (Bluetooth Low Energy) を用いておりますので、スマホでも読取り可能で、各自治体でのボランティア活動にもご利用いただけます。

また、その利用の簡便性が故に存在する BLE のセキュリティの脆弱性に対して、「みまもり事業者」としての誇りにかけて、独自セキュリティを組み込んでおりますので、安心してご利用いただけるのが「まちなかミマモルメ」の最大の特長です。

2016年3月に伊丹市、4月に長岡京市で導入を果たし、多数のユーザーの方々からお喜びの声を頂戴しております。

● 発信器

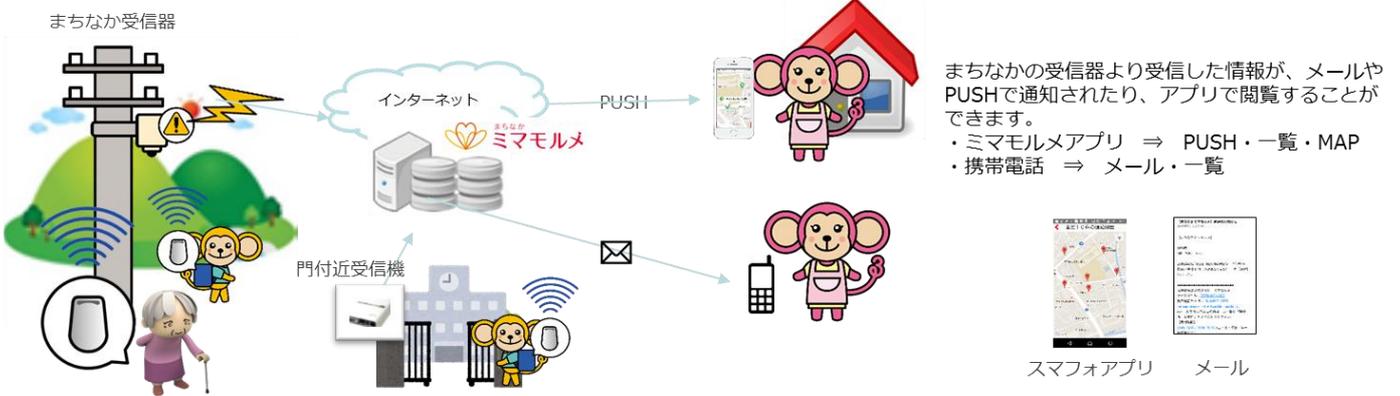


小型・軽量
独自セキュリティ組み込み

● 受信器

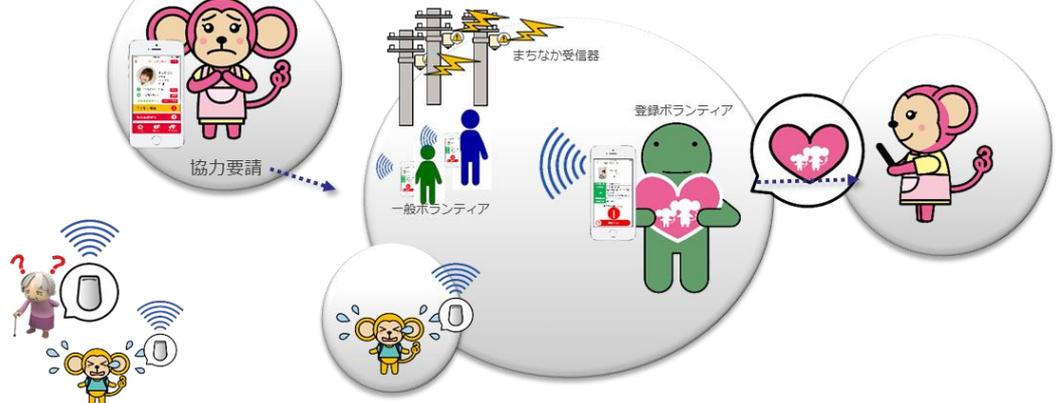


発信器を持った高齢者や子どもがまちなかや学校の門に設置されたビーコン受信器付近を通過することにより、メール通知またはPUSH通知にてお知らせします。



万が一ご家族が迷子になられた場合は、迷子の方の情報をボランティアへ送信し、検索に協力のお手伝いいただけます。

- 一般ボランティア**
協力要請があった場合受信器として検索に参加します。アプリをダウンロードすることで一般ボランティアになることができます。
- 登録ボランティア**
事前に自治体等への登録が必要になります。協力要請があった場合受信器として検索に参加します。迷子の方の情報を受け取ることができ、迷子の方の発信器を受信した場合は、協力要請者へ電話でお知らせすることができます。(*1) 登録ボランティアを利用する場合は、ID//パスワードが必要になります。(*1) 協力要請者が電話番号を公開した場合



【導入事例】

伊丹市での導入事例

市中 1,000 か所に設置された「安全・安心見守りカメラ」と「まちなかミマモルメ」受信器が併設され、児童や高齢者の皆さまを見守っています。

伊丹市 URL : <http://www.city.itami.lg.jp/SOSIKI/anzenanshin/>



設置箇所

長岡京市での導入事例

西山入山口 18 か所と市中 20 か所 (Wi-Fi スポット) に受信器を設置し、高齢者の皆さまを見守っています。

長岡京市 URL : <http://www.city.nagaokakyo.lg.jp/0000004743.html>



以上